

## 第 25 回から第 26 回までの再生会議結果

平成 21 年 6 月 11 日 (木)

|                        |  |
|------------------------|--|
| 第<br>25<br>回<br>会<br>議 | <p>【平成 20 年 9 月 9 日 (火) 午後 5 時 30 分～午後 8 時 35 分】</p> <p><b>1 第 23 回から第 24 回までの再生会議の結果について</b><br/>資料 1 に基づき、大西会長から概要が報告された。併せて、事務局から評価委員会の開催状況の報告があった。</p> <p><b>2 平成 21 年度三番瀬再生事業の方向性について</b><br/>資料 2 - 1～4 により事務局から、資料 2 - 5 により自然保護課から説明があった。<br/>主な意見等は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「千産千消」について、漁業者と消費者を結ぶ取組をしていくことはよくわかるが、消費者は県民であることから、少し視点を変えて、県民を主体とした「千産千消」運動を展開することは考えられないのか。</li> <li>・【県の回答】千葉県海の恵みを、消費者である県民の方々、また生産している漁業者、養殖業者の方と共に分かち合っていたらという趣旨で進めている。<br/>どちらに軸足を置くかは、生産に携わっている方、消費される方の両方に視点を置いている。</li> <li>・実際に消費するのは市民なので、もう少し市民団体に「千産千消」の考え方やメリットを浸透させていくような努力が必要ではないか。</li> <li>・【県の回答】これからもそういった視点に立って事業を進めていきたい。</li> <li>・三番瀬海苔は、京葉道路の幕張サービスエリアに新しくできた千葉の産品コーナーでも出ており、結構有名になってきた。「千産千消」の千葉ブランドだけ特別扱いするのではなく、他の取組のブランドも県で受けとめていただき、特に三番瀬の産品をたくさんの人に買ってもらえるような場づくりに努力していただければいいと思う。</li> <li>・「三番瀬海苔」という名称を付けて船橋の皆さんが張り切って売り出したとき、行徳も南行徳も含めた一帯で海苔をつくっている方々は、「これぞ日本一の味のノリだ」と胸を張っていた。しかし、ここ数年、味が落ちてきている。こうした事情を御勘案いただき、漁場が荒れてしまったのか、地球が温暖化したのかなどいろいろな原因があると思うが、また皆さんの応援をお願いして、一日も早くいい海苔がつけられる漁場づくりをしていきたい。</li> <li>・浦安日の出地区の護岸にある立入禁止の立て看板について、市民がい</li> </ul> |
|------------------------|--|

かに三番瀬と親しめるかという意味でのルールづくりを進め、そのための協議の場をつくることが一番望まれる。

- ・ 5節「海と陸との連続性・護岸」の景観の部分と、6節「三番瀬を活かしたまちづくり」のまちづくりの部分は、他の分野と比べてあまり進展がないように思う。特に、市川市塩浜護岸の背後にあった緑地帯が消えているが、周囲の環境等の景観は一体的なものなので、引き続き検討する必要がある。また、法的に市は景観に対する配慮を持つ責務を負っているが、県と市が調整せずに、その景観を評価委員会で評価してくれと言われても、難しいところがある。

- ・【県の回答】景観の問題は大変重要であり、背後のまちづくりとの関連もあるので、引き続き市川市と協議し、護岸検討委員会でも検討していきたい。

- ・ 市川市としても、市の整備基本計画の中で、塩浜を「海辺と一体となったまちづくりをしていく」としており、景観に十分に配慮していきたい。

- ・ 9月3日（水）再生実現化検討委員会において、市川市所有地の湿地を含めたまちづくりについて、法律的・技術的な検討を早く進め、関係者を集めたワーキングショップ的なものを開催しながら、基本的事項を詰めていくこととなった。

方向性の記述は「平成21年度は基本設計を進めます。」程度の書き方で良いが、拡大ワークショップの中で、委員にも協力いただき、開かれた形で議論していきたい。

- ・ 市川市所有地の湿地を含めたまちづくりについては、関係者を広く集めたワークショップなどが計画された段階になったら、再生会議委員のメンバーにもお知らせしながら、できる限り開かれた形で議論していくことにしていきたい。

- ・ 浦安日の出地区の護岸のルールづくりについて、現在入っていけないという看板がありながらも実際には非常に多くの方々が入っているため、早くルールをつくっていただきたいという話を再三言っている。

人が海に入るので、汚すことはもちろんのこと、一番大きな問題となる事故が起きてからでは遅い。早目にルールづくりのテーブルにつけるよう考えていただければ非常にありがたい。

- ・【県の回答】護岸が危険なので、必要な整備や管理について、ある程度の方向性が出た段階で、ルールづくりについては検討していきたい。

- ・「環境学習・教育事業」については、三番瀬環境学習施設等検討委員会において「環境学習施設や環境学習の場については、三番瀬再生の全体構想の進捗を見極めつつ、慎重に検討を行います」となったので、

環境学習の場をきちっと検討していただきたい。

- ・【県の回答】環境学習施設、環境学習の場については、三番瀬再生の進捗状況を見きわめつつ、慎重に検討を進めたい。
- ・環境省の自然環境整備交付金について、この3年間に於いてどのようにしてストップしてしまったのか。

- ・【県の回答】自然環境整備交付金は、そもそも国定公園・長距離自然歩道・国指定鳥獣保護区の区域において都道府県や市町村が行う整備事業などに対して交付されるものである。鳥獣保護区であれば整備事業に対して充当できるが、三番瀬は未だ鳥獣保護区に指定されていないため、具体的な整備事業ではなく、調査事業に対して交付を受けていた。

17年度から19年度の3ヶ年を計画期間としていただいていたが、その3年間の期間が終わる19年度に、環境省から国指定鳥獣保護区の指定までの具体的なスケジュールを求められた。それまで、利害関係者となる漁業者と何回か勉強会や意見交換会をやってきたが、確たる同意に至っていなかったため、具体的なスケジュールを示せなかった。3年間の計画期間が終了したことから、とりあえず、一旦休止扱いにしたものである。

- ・「条例の制定」については、条例をつくる必要があるのかどうかから検討するというように読めてしまう。「条例化を進めます、条例の制定を目指します、それにあたって県民の理解が必要なので広報の強化に努めます」などを書いていただければわかりやすい。
- ・再生会議の一番の課題は、漁協の方々に委員に入ってもらえなかったことと言える。その後、大野さんは入っていただいたが、漁協の方々も加わっていただき、漁場再生・自然再生・ラムサール登録について議論していくことが大事ではないか。
- ・ラムサール条約については、全面登録がベストであり、自然再生・環境学習の場の問題も、ラムサール登録のメリットも半分にしか及ばないので、まずは全面登録を目指して頑張っていくことだと思う。
- ・「ラムサール条約」について、例えば「再生会議では、全域が困難なときは段階的な登録という意見が出されており、検討されている」旨の記載をお願いしたい。

また、20年度事業の進捗状況の欄は、具体的に「漁協関係者と話し合ったけれども、具体的な方向が出ませんでした」との記載をお願いしたい。

21年度事業の方向性の欄は、「全域の登録が困難なときは段階登録を含めて検討する」、「関係者の合意形成については、漁業関係者だけではなく、県、鳥獣保護区の公聴会に出席するメンバー等の意見を聞き

て、場合によっては全員の協議会で検討する」旨も加筆していただきたい。

- ・ラムサール条約の段階的登録よりも、堂本知事の任期中に一気に登録する道筋をつけるよう努力していただきたい。鳥の目から見て自然的に区分されていないところを、人の都合で線を引くということはおそらく話が通らないと思う。

#### 会長まとめ（議題2）

- ・漁業補償問題が仮に順調に進んだ場合、ラムサール登録に関する環境が1つ変わったということにもなり、また、今回の韓国でのラムサール登録は無理だが、次回の締結国会議まで3年間あることから、新しい状況の中で全面登録を進めていくのが大事ではないか。一方、ワーキンググループでまとめた段階的登録という選択肢もあることから、そうした選択肢も持ちながら全面登録を進めていただきたい。
- ・「21年度三番瀬再生事業の方向性」について言い残したことがあれば、1週間以内を目途に事務局あてに意見を提出していただきたい。その後、10月下旬に、各委員あて21年度三番瀬再生実施計画（案）の意見照会があった段階においても意見を言うチャンスがある。そして、次回会議で議論するという形になる。

### 3 報告事項

三番瀬の再生・保全のための標語（キャッチコピー）、シンボルマーク、マスコットキャラクターの選考について、三番瀬再生支援事業補助金の交付決定について、それぞれ事務局から説明があった。

また、塩浜1丁目護岸の暫定工事について、市川市から説明があった。

### 4 その他

三番瀬再生会議委員の任期が12月26日に満了となることから、前回改選時と同様に、公募委員、環境団体委員を公募する旨事務局から説明があった。

併せて、三番瀬海域の漁業補償問題については、昨年5月に東京地方裁判所で民事調停の申し立てを行って以来、これまで漁協ごとに11回の調停が開催され、8月26日に行われた第11回調停で、調停委員会から調停案が提示されたことと、県企業庁は本調停を受け入れるということ、今後、県議会に議案を提出する予定である旨の説明があった。

最後に、次回再生会議は、11月20日（木）に開始時刻は通常どおり18時からとのお知らせがあった。

|                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| <p>第<br/>26<br/>回<br/>会<br/>議</p> | <p>【平成20年11月20日(木)午後6時～午後8時40分】</p> <p>議事に先立ち、前回会議時と同様、終了時刻を遵守することと、発言時間は1回当たり1分程度をルールとすることを申し合わせた。</p> <p><b>1 第24回から第25回までの再生会議の結果について</b><br/>資料1に基づき、大西会長から概要が報告された。</p> <p><b>2 三番瀬評価委員会での検討結果について</b><br/>資料2に基づき、細川座長から三番瀬評価委員会での検討結果概要の報告があった。<br/>主な意見等は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2に記載のとおり、イシカワシラウオが1匹見つかったことにより、環境再生の第一歩として今後も注視が必要であることはわかるが、イシカワシラウオは、卵が孵化するまでペアで見つかることの方が正常なので、環境指標としては、まだそんなに甘い考え方は持たない方が安全ではないか。漁場の方では、だんだん環境が厳しくなっており、なかなか再生を確認するような状況になっていない。</li> <li>・イシカワシラウオの評価は、資料2に記載のとおり「今回の調査結果のみでは、三番瀬全体の自然環境の傾向を判断するのは難しい」ということが大きな結論である。少し注意していきましょうねという趣旨である。</li> <li>・個々のモニタリングデータをどこかが一元化してまとめて、全体で使えるようにしておく必要があるのではないか。三番瀬がどのように変遷してきたか把握できるような調査を位置づけて、きちっとしたデータをとっておくことが極めて重要だと思う。是非どこかのセクションが中心になって、データの一元的管理をしてほしい。</li> <li>・【細川座長回答】資料2の9ページに、自然環境調査と活用の仕方を踏まえ、毎年調査結果を取りまとめて公表し、データを共有していきましょうと指摘しており、昨年度と同様、毎年「2008年度の三番瀬の様子」のようなデータブックの作成を県に提案しているところである。</li> <li>・評価委員会で、実際にどのようなことが起きているのかを明らかにしてほしいとの一連の御意見に対しては、仮説を立てて検証していくような方法論が必要で、仮説 - 検証型タイプの調査をしなければ結論は出ない。現在、モニタリングデータを解析する違うタイプの検討をし</li> </ul> |
|-----------------------------------|--|

|                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| <p>第<br/>26<br/>回<br/>会<br/>議</p> | <p>ているため、核心に迫れない状況にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・また、近年は、生物・環境など別々にやるのではなくて、複合的な調査が一般的に行われており、今回のモニタリングデータは、見ていくという点ではよいが、総合的考察は難しいところがある。評価委員会においては調査設計の構造など結論に導くための仕組みが整っていないことから、評価委員会が再生会議の中で議論していただけると有り難い。</li> </ul> <p><b>会長まとめ（議題2）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（三番瀬評価委員会の役割は、再生会議からの依頼に基づく個別の事業に係る影響の評価と、三番瀬の環境全体への影響の評価となっているが、）今後、評価委員会から、データの蓄積の中で再生の方向など積極的な提言に近い意見も出てくるのではないかと思うので、そうしたものを事業に反映させていきたい。</li> <li>・また、再生会議からの依頼事項を調査することばかりでなく、逆の局面も出てくるのではないかと思うので、うまく両輪として機能していければいいと思う。</li> <li>・3つの事業（三番瀬自然環境調査事業、市川市塩浜護岸改修事業、三番瀬再生実現化推進事業）の検討結果報告については、当該資料（資料2）を再生会議の報告として県に提出することとしたい。</li> </ul> <p><b>知事あいさつ</b></p> <p>議題2が終了した後、堂本知事から以下のとおりあいさつがあった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このようにしていろいろなセクターの皆様が、大変公平な形で再生会議に御参加くださり、議論をしながら一つ一つ先へと進めてくださっていることが、進め方が民主的であることや議論が科学的・専門的なレベルに到達していることも含めて、一番価値ある貴重なプロセスではないかと思う。</li> <li>・毎回全部話を伺いたい気持ちでいっぱいだがなかなか来られない。この会議の貴重さ・積み重ねは、日本広しといえども三番瀬以外ではないと思う。「ありがとうございました」という気持ちと、これからも着実に進めていきたいということをお伝えしたい。</li> </ul> <p><b>3 平成21年度千葉県三番瀬再生実施計画（案）について</b></p> <p>資料3 - 1～6により事務局から説明があった。主な意見等は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料3 - 2の5ページ「第4節 2 三番瀬周辺の県の管理する河川再生の検討」について、三番瀬再生に非常に重要な影響を受ける可能性</li> </ul> |
|-----------------------------------|--|

があるので、県の管理する河川の他、市の管理する河川も含めて、三番瀬再生に必要な河川は、協力しながら県が主体性を持って取り組んでいくということをお願いしたい。

- ・【県の回答】基本的に県の再生事業を記載しているため、資料の表中「県の考え方」欄は、県以外が実施するものは、基本計画との整合性につき配慮を要請していくという記載になっている。議論がまとまれば、例えば市の管理する河川でも要請はしていくという考え方を記載している。
- ・江戸川放水路の放水による漁業への影響問題は、再生会議の中でもたくさん議論されてきているが、運用の改善等十分詰めた議論がされていない。できたら、次の再生会議で議論できる時間があつたらいいと思う。
- ・評価委員会でも議論されたグランドデザインづくりについて、議論ができる場を作ってほしい。
- ・ラムサール条約への登録については、漁業補償問題が議会を通ったことにより、懸念が払拭されて前進する年になるのではないかと考えている。次回の再生会議にでも県議会の報告書を提出してもらいたいと思うがいかがか。
- ・【県の回答】漁業補償関係について、議会への報告資料は予算書関係のものなので、もっとわかりやすい資料を出すような方向で調整したい。
- ・21年度実施計画（案）に対する知事への意見について、今日出た議論の中で重要なものを3つほど整理したい。
  - 1番目は、ラムサール条約への登録促進について特段の努力をいただきたい。
  - 2番目は、江戸川放水路が三番瀬に与える影響について、通常の放水路の可動堰の運用など三番瀬再生への寄与も含めて再生会議で議論し、利根川、江戸川の河川整備計画への知事意見として是非反映させていただきたい。
  - 3番目は、目標生物の設定や、「小海域」ごとの目標の達成なども含めた三番瀬再生のグランドデザインをもう一度議論・整理し、今後の事業計画に反映させていただきたい。
- 以上3点を是非特出しで知事に申し上げたい。
- ・それにもう1点、ソフト面の事業は相乗効果が期待できるので、年度計画で一つずつつぶすやり方ではなく、相互の関係や戦略性も考慮しながら進めていく旨加えてほしい。

**会長まとめ（議題3）**

- ・江戸川放水路については、来年度の再生会議で、ラムサールとともに

|                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| <p>第<br/>26<br/>回<br/>会<br/>議</p> | <p>重点的な問題として議論したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年度千葉県三番瀬再生実施計画（案）についての知事への意見書の文案については、御一任いただき、会長、副会長でまとめる。</li> </ul> <p><b>4 報告事項</b></p> <p>目標生物調査事業について、三番瀬の再生・保全のための標語（キャッチコピー）・シンボルマーク・マスコットキャラクターの選考について、三番瀬再生会議委員の応募状況について、市川市塩浜護岸改修事業の進捗状況について、それぞれ事務局から説明があった。</p> <p><b>5 その他</b></p> <p>来年度の再生会議は、今年度と同様に3回を基本に開催する旨事務局から説明があった。</p> |
|-----------------------------------|--|